

おうしゅう市議会だより

No.81

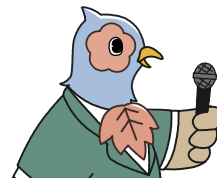
6月
定例会

定例会後
年4回発行

発行日/令和8年8月13日 発行/奥州市議会

81号の内容

施政方針・教育行政方針演述	2
臨時会・定例会のあらまし	4
一般質問	6
議員表彰・総合計画調査特別委員会 政務活動費収支報告書	13
音訳おうしゅう視察 議長のつぶやきカフェ	14
川口印刷で研修会 行政視察受入状況	15
高校生からひとこと・表紙紹介 お知らせ・あとがき	16



高校生から ひとこと

質問事項

- 1 将来の夢（職業など）とその理由を教えてください。
- 2 奥州市の一番好きな場所とその理由を教えてください。
- 3 あなたの考える理想の奥州市。「こういうまちにしたい！してほしい！」という思いをぜひ教えてください。

- 1 パティシエになることです。理由はお菓子が好きだからです。学校でも食品班に所属していて、パンやケーキを作っています。パティシエになってお菓子を作って家族や友人に「おいしい！」と喜んでもらいたいです。
- 2 前沢駅近くの田んぼの桜が満開なところ。春に毎日通学のときに桜の道を通って学校へ行っています。きれいな桜を見て嬉しい気持ちになります。
- 3 いろいろなところの桜をみんなに見てもらって喜んでほしいです。他の地域からもぜひ見に来てもらいたいです。

- 1 私は将来、消防士になりたいです。困っている人や危険な状況にある人を一刻も早く助け、地域の安心と安全を守りたいと考えています。
- 2 前沢陣馬にあるお物見公園です。前沢を一望することができ、春には桜が満開になり、そこで行われる桜まつりがとても楽しいからです。
- 3 私は日本農業遺産に認定された束稲山麓地域をテーマとした探究活動を通して、奥州市には豊かな自然と伝統、地域を支える人々の知恵があることを学びました。その魅力を未来へ受け継ぎ発信し、多くの人に知ってもらい、活気あふれるまちにしたいと思います。

ちば
千葉 すずさん
(前沢明峰支援学校高等部3年)



ささき そうし
佐々木 聡士さん
(前沢高等学校普通科3年)



部活は
バドミントン！

好きな食べ物は
奥州ポテト！

表紙紹介

みんなで前沢の史跡を巡ったよ

束稲山の寝観音を眺めながらモレの屋敷跡を訪ね、月山神社の和算盤に挑戦したり、ホテルが飛ぶ輔八坂の歴史に驚いたり、宮沢賢治の碑を見たり…。大満足な一日を過ごしました。

表紙イラストのスマホ待ち受け画像をダウンロードできます。詳しくは奥州市議会ホームページへ。



あとがき

今年度の表紙のテーマは「地域の史跡」です。「こんな場所があったのか！」知っているようで知らない場所がたくさんあります。みなさんの近くの史跡が表紙になるかもしれません。ぜひ、表紙にもご注目ください。(佐藤 美雪)

議会広聴広報
委員会

〔委員長〕 佐々木 友美子 〔副委員長〕 佐藤 美雪
〔委員〕 及川 泰輔 小野寺 勝 岩淵 高紀 佐藤 克也
千葉 典弘 三浦 秀夫 高橋 善行 飯坂 一也

奥州市議会
YouTubeチャンネル



奥州市議会 ホームページ

奥州市議会

検索



FMラジオ「電波に乗せて！奥州市議会」放送中！

奥州エフエム（77.8MHz）
隔週木曜日 15:35 頃～15 分程度
(再放送 翌週火曜日 18:30 頃～)



音訳・点訳版議会だよりを希望の方は、
議会事務局までご連絡ください。

奥州市議会公式
Facebook



奥州市議会公式
X(旧Twitter)



奥州市議会公式
Instagram



次の定例会は 8月28日(金)の開会です。

9月定例会で請願審査を行うための
提出期限は 8月24日(月)午後3時です。



おうしゅう
市議会だより

No.81

令和8年8月13日

発行/奥州市議会(岩手県奥州市水沢大手町一丁目1番地)
電話/0197-34-1575(直) 編集/議会広聴広報委員会
印刷/川口印刷工業株式会社

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



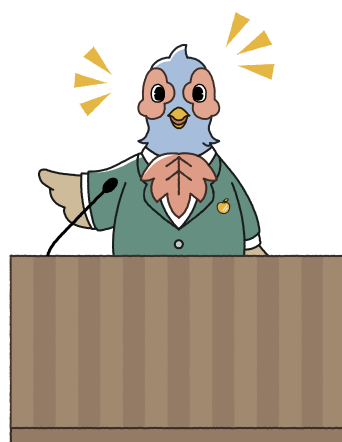
奥州市の未来を語る奥州ミーティングイメージ

質問 ふるさと学習を通じて、子どもたちにどのような力や意識を身に付けてほしいと考えるか。またどう人材育成につなげていくか。

教育長 背景として旧市町村の単位ではなく、市全体の郷土学習を進めることで、奥州市に誇りと愛着を持ってもらいたいと考えている。子どもたちが奥州市の良いところに気づき、自分の将来にも夢や希望を持



ふるさと学習テキスト「ふるさと★OSHU」



市長 様々なデマンド交通など、地域の方々が安心して移動できる手段についてしっかりと考えていく。

質問 鳥獣被害対策室の新設について。

市長 クマなどの出沒の増加を受けて、鳥獣被害対策室の新規設置について作業を進めている。7月1日を目標に組織再編の予定である。市民が安心できる環境をつくっていく。



答弁する高橋教育長



教育行政方針演述に対する質問

ことが大事であると考えている。

質問 文化財保存活用地域計画の作成を進め、令和8年度中に文化庁の認定を目指すとしている。子どもたちの学びや郷土理解にどうつなげていく考えか。また将来的には総合的な博物館機能の整備も必要ではないか。

教育長 文化財に関わる市全体の計画を作成し、子どもたちにも興味を持ってもらえるような工夫をしていく。また計画の作成後に関連施設整備再編等検討委員会を立ち上げ検討をしていく。

質問 不登校に関して、初期対応の取

り組みをどう推進していく考えか。

教育長 3日連続で休んだ場合は必ずコンタクトを取るよう各校に指示している。担任だけでなく、複数で組織的な対応を図る工夫もしている。

質問 特別教室へのエアコン設置の状況を伺う。

教育長 エアコン設置のために高額なキュービクルを設置しなければならず、一斉の整備が困難になっている。昨年度の予算で市内全ての中学校に移動可能な冷風機を設置している。効果を検証しながら、小学校への設置も検討していきたい。



令和8年
第2回
定例会

施政方針・教育行政方針演述

Q & A (抜粋)

施政方針・教育行政方針演述全文はこちら▶



施政方針演述に対する質問



答弁する郷近市長

質問 奥州ミーティングについて。

市長 単純な要望会とすることは望ましくないことをご理解いただきたい。時間的制約からすべての要望を聞くことは難しいが、要望を語られたとしてそれを受け付けないということではない。

質問 市政運営の根幹に据えるとした市民との対話について。

市長 意見を出し合う機会やコミュニケーションの場など、市民の皆さんと向き合い互いの理解を深める機会が充分でなかったの思いがあった。奥州ミーティング等で市民の思いを受け止め政策に当て込み、市民と一体となって市政を進めていく。

質問 地域医療体制について。

市長 市内病院の代表者らと意見を交わす地域医療検討会議が6月から始まっている。地域医療の最前線で患者と向き合っている方と話す機会は不可欠であり、ここからのスタートとすべきと考えた。これまではその機会が不十分であったと認識している。

質問 子育て環境ナンバーワン宣言について。

市長 子育て支援の中で給食費の無償化、産後ケアの拡充などにしっかりと取り組みつつ、子育て世代のみならず、市民の皆さんがやっぱり自分たちのまちはいいいところだと口々に言っていたようなまちにしたい。

質問 財政調整基金を一定以上確保する必要性について。

市長 標準財政規模の5%では間に合わないと考えている。少なくとも20%またはそれ以上をひとつの目安として捉えている。予算全体に目を向けながら、財政需要と財政調整基金の確保について両立させていく。

質問 公共交通ネットワークの再構築について。

議案審議

奥州市税条例の一部を改正する条例の
専決処分に關し承認を求めることに
ついて

令和8年度奥州市一般会計補正予算
(第3号) (修正可決)

(修正案)

財産の取得に関し議決を求めること

財産の取得に関し議決を求めること

を更新しようとするもの

市長車の賃貸借契約の解除に係る損害賠償の額の決定に關し議決を求めること（否決）

【主な意見】

は大きい。

の合理性も不十分。



第2回定例会は令和8年6月5日か

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。
これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

※公＝公明党、奥ノ＝奥州ノート、無＝無会派
※議長は採決に加わりません。

採決結果一覽表

第3回4月臨時会	議席 会派	7	8	13	14	15	19	24	26	3	4	6	9	16	17	18	2	5	12	22	10	20	25	27	23	28	1	11	21	採決結果
	氏名	奥和会								新奥会							玲奥会				日本共産党				公	奥ノ	無			
		菊地	千葉	門脇	高橋	佐々木	高橋	加藤	中西	小野	岩淵	佐藤	三浦	小野	及川	高橋	岩淵	佐藤	菅野	及川	佐藤	千葉	千田	今野	飯坂	阿部	及川	穴戸	菅原	
		淳	典弘	芳裕	善行	友美子	浩	清	俊	勝	高紀	永匡	秀夫	優	春樹	晋	英浩	克也	至	佐	美雪	敦	津子	裕文	一也	加代子	泰輔	直美	由和	
		議案																												
議案第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-	否決

議案番号	案 件 名	詳しい内容を知りたい方はこちらの2次元コードからご覧下さい
4月臨時会 第3回 議案第2号	市長車の賃貸借契約の解除に係る損害賠償の額の決定に関し議決を求めることについて	議案第2号 

第2回6月定例会	議席 会派	7	8	13	14	15	19	24	26	3	4	6	9	16	17	18	2	5	12	22	10	20	25	27	23	28	1	11	21	採決結果
	氏名	奥和会								新奥会							玲奥会				日本共産党				公	奥ノ	無			
		菊地	千葉	門脇	高橋	佐々木	高橋	加藤	中西	小野	岩淵	佐藤	三浦	小野	及川	高橋	岩淵	佐藤	菅野	及川	佐藤	千葉	千田	今野	飯坂	阿部	及川	穴戸	菅原	
		淳	典弘	芳裕	善行	友美子	浩	清	俊	勝	高紀	永匡	秀夫	優	春樹	晋	英浩	克也	至	佐	美雪	敦	津子	裕文	一也	加代子	泰輔	直美	由和	
		議案																												
議案第8号修正案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	-	可決

6 月 定 例 会	議案番号	案 件 名	詳しい内容を知りたい方はこちらの 2次元コードからご覧下さい 議案第8号 修正案 
	議案第8号 修正案	令和8年度奥州市一般会計補正予算（第3号）に対する修正案	

奥州市災害弔慰金の支給等に関する
条例の一部改正

 $\overbrace{+}$

奥州市地方活力向上地域における
固定資産税の課税免除及び
不均一課税に関する条例の一部改正

（施行期日 公布の日）

780台を更新しようとするもの



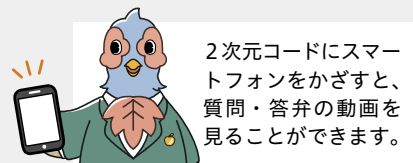
医療センター整備を含む市立病院の在り方の合意形成



目指す姿のイメージ



子どもの安全を守る通学路の整備



市立病院の在り方の合意形成は

質問 今後、医療センター整備など4つの市立病院・診療所の在り方を整理するに当たっては、市民代表や医師会をはじめとする関係者が課題を共有し、相互理解を深めながら丁寧に合意形成していくことが重要。

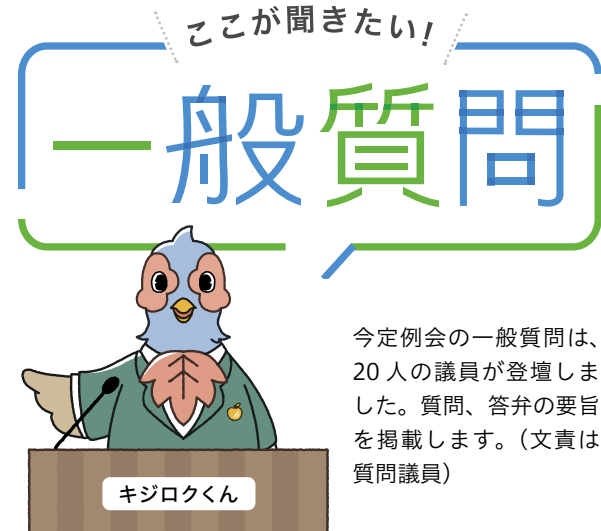
そのため、医科大学、医療経営の専門家、行政も含め、同じテーブルで継続的に意見交換を行う公開の場を検討すべきではないか。

市長 医療関係者と市民、それぞれが見えているものと見えにくいものがあり、そこには開きがあると感じている。会議を行いつながら検討が深まるような形をとっていきたい。

市立病院の在り方の合意形成は



千葉 典弘 議員
奥和会



今定例会の一般質問は、20人の議員が登壇しました。質問、答弁の要旨を掲載します。(文責は質問議員)

質問議員

令和8年6月 定例会

佐々木友美子／奥和会……………6P	千田美津子／日本共産党 ……9P
門脇 芳裕／奥和会……………6P	佐藤 克也／玲奥会 ……10P
千葉 典弘／奥和会……………7P	及川 佐／玲奥会 ……10P
阿部加代子／公明党……………7P	岩淵 英浩／玲奥会 ……10P
佐藤 美雪／日本共産党 ……7P	穴戸 直美／奥州ノート ……11P
菊地 淳／奥和会……………8P	高橋 晋／新奥会 ……11P
菅野 至／玲奥会……………8P	佐藤 永匡／新奥会 ……11P
三浦 秀夫／新奥会……………8P	今野 裕文／日本共産党 ……12P
千葉 敦／日本共産党 ……9P	及川 春樹／新奥会 ……12P
飯坂 一也／公明党……………9P	加藤 清／奥和会 ……12P

※1 要介護認定進捗照会システムの効果は

質問 5月20日に本稼働したシステムの概要とその効果について伺う。

市長 概要は、ケアマネジャーが手持ちのスマートフォンやパソコンから24時間365日、要介護認定の進捗状況を確認できるもの。導入目的は、市民サービスの向上と行政事務の効率化。効果として、事業者から業務負担の軽減を実感する声を多数いただいている。

学校給食費の無償化の財源は

質問 学校給食費を完全無償化するためには、今年度で市費負担が1億4千万円、将来国の交付金が無くなれば4億9千万円の市費負担となるがその財源について伺う。



財源が問われる学校給食費完全無償化



佐々木 友美子 議員
奥和会



防災と災害対応は

質問 防災周知に行政拡声設備の使用は。

市長 胆沢地域の行政拡声設備は、一斉放送及びサイレンの機能がないことから、吹鳴はできない。

山林火災対応に関する訓練は。

市長 9月に予定している消防演習では、山林火災を想定した訓練の実施を予定し、関係機関と協力し対応力の向上に務める。

市民のスポーツ活動は

質問 市民スポーツ祭の競技種目選定は。

市長 市スポーツ協会加盟団体である各種目別競技団体に対して同祭における競技の実施を打診し、その意向を示された競技種目を選定している。

質問 県民スポーツ大会出場への支援は。

市長 市スポーツ協会に対し、出場する選手・役員の旅費の一部に補助金を交付している。



市民スポーツ祭の種目である「スポーツウエルネス吹矢」



門脇 芳裕 議員
奥和会



LED照明への転換を

質問 市営住宅の照明器具は、市の責任でLEDに取り換えるべきである。低所得世帯等へのLED転換に、補助を行う考えを伺う。

市長 市営住宅については、共用部、居室等優先順位を定めLED化を進める。低所得世帯等への補助は現在では考えていない。

いのちの安全教育の取り組みを

質問 子どもを性犯罪の被害者、加害者、傍観者にしないため「いのちの安全教育」を発達段階ごとに行うべきである。取り組みを伺う。

教育長 自他の生命と尊厳を尊重し、安全で安心な生活を送るため、必要な知識と判断力を身に付けられるよう取り組んでいる。

※2 ふるさと住民登録の取り組みは

質問 制度導入の検討状況について伺う。

市長 他自治体の検討状況のほか、費用負担や課題への対応等も併せて検討を始める。

小児医療体制の充実で子育て世代に安心を

質問 4月から県立胆沢病院の小児科常勤医が不在となり、入院・救急体制が弱まった。また、胆江圏域は県内で一番、子ども千人あたりの小児科医師数が少ないことがわかった。市立医療施設で小児科医療を充実させていくことが必要ではないか。

市長 必要性は十分に認識している。県と協議しながら、自前での充実も含めて進めていきたい。

通学路の危険箇所、把握・対策の徹底を

質問 「なかなか側溝のふたが設置されない」という地域の声を聞いた。学校から教育委員会への報告が十分ではない状況が見られる。危険箇所の把握・対策の徹底を。

教育長 毎年、国や県、警察など関係機関で構成される通学路安全対策会議で合同点検を行い、対策を講じている。学校へも危険箇所の報告を十分に行えるように助言していきたい。



佐藤 美雪 議員
日本共産党



※1 要介護認定進捗照会システム

ケアマネジャーが要介護認定の進捗状況をオンラインで24時間確認できるシステム。事業所、市の担当課共に問い合わせにかかる事務を減らし、双方の業務効率化を図ることで、円滑な介護サービス提供や早期利用開始につなげる。



きくち じゅん
菊地 淳 議員
奥和会



畜産に特化した支援制度の創設は

質問 肥育素牛を導入した全頭に対する支援などの考えはあるか。また、繁殖牛の頭数維持を図ること及び繁殖素牛高騰への導入・保留対策の新たな創設の考えはないか伺う。

市長 現在、肥育農家は、肥育素牛導入価格や物価の高騰による影響を受けており、非常に苦しい状況であると認識している。先に実施した物価高騰対策支援等の効果、今後の肥育素牛導入価格の推移等を注視していく。また、繁殖牛支援策について、畜産振興対策事業の継続と、6月補正予算に計上した2つの支援策の効果を注視し、状況を見定めていく。

前沢牛の販売促進策は

質問 前沢牛の販売促進策の一環として、トップセールの展開方法は。

市長 東京都での前沢牛のトップセールスを検討している。その際は、農協の会長と共に前沢牛ブランドをPRしていきたい。前沢牛指定店等の協力をいたしながら、さらなる前沢牛の販売促進につながるよう取り組む。



ミーもPRしていくピン！



かんの しずお
菅野 至 議員
玲奥会



江刺市街地エリアプロジェクトの方向性は

質問 江刺市街地プロジェクトは、江刺総合支所周辺の市有地を活用し、新たな交流・滞在・にぎわいの拠点を目指す重要な取り組みであるが、その取り組み状況と、方向性について伺う。

市長 このプロジェクトは、企業誘致に伴う1400人超の新規雇用を背景に、定住促進や交流・関係人口の拡大を目指して進められており、令和7年度に整備構想を策定し、その後市民意見を踏まえて子育て機能や文化発表機能を重要機能として位置付けた。今後の方向性は、事業規模や概算事業費、市の負担上限を精査しながら、民間提案を前提とするため、市の財政計画に無理のない範囲で検討を進めることが重要である。また、住民との話し合いや企業等との交渉を継続し、課題を整理しつつ、持続可能な事業化を目指す。（この他に、地域計画「地域農業経営基盤強化促進計画」について質問）



江刺総合支所周辺市有地の活用を目指す



みつおか しゅう
三浦 秀夫 議員
新興会



地域おこし協力隊の定住促進を

質問 地域おこし協力隊が地域活性化に取り組んでいるが、任期終了後に地域へ定住し、継続的に地域づくりに関わる仕組みづくりが重要。任期を終えた後も、地域との関係を維持しながら活動を継続できるよう、集落支援員制度などを活用した定着支援について伺う。

市長 隊員の活動サポートを中間支援団体へ委託しており、起業や住宅取得に関わる各種の補助金制度の創設のほか、任期終了後を見据えて「なりわいづくり」についても支援している。任期終了後も定住し、生計を立てていくためには現実的な事業計画を作成することが課題であると認識している。過去には受け入れ側と本人との間にミスマッチもあったが、募集時に現地見学や面談を行い、受入団体・行政が連携して受け入れ体制を整えている。また、任期終了後の隊員を集落支援員として採用することは、制度の目的が違うことから考えていない。



地域おこし協力隊の定住促進



ちば あつし
千葉 敦 議員
日本共産党



中小事業者への新たな支援策を

質問 緊迫する中東情勢の影響による「ナフサ」の流通減から、資材不足や価格高騰が引き起こされ、地域経済はオイルショックやコロナ禍よりも深刻な影響を受けている。さらなる支援が必要では。

市長 国や県の動向に注視し、地域経済の状況の見通し等を勘案し、より事業効果の高い施策が構築できるよう検討していく。

クマ・イノシシ・ニホンジカの被害対策は

質問 ツキノワグマ・イノシシ・ニホンジカの被害に対して、ゾーニングや電気柵などの対応策は。

市長 クマのゾーニング対策は、人とクマの緩衝域である里山での刈り払い等による侵入の抑制等である。また、農地の電気柵設置に補助をしているほか、捕獲したシカなどの処理施設の設置を検討していく。



農地を守る電気柵（江刺稲瀬）



いざが かずや
飯坂 一也 議員
公明党



財政規律ガイドラインの策定を

質問 大型の事業が検討され、合併特例債の活用も期限がある。今まで以上に強固な財政規律の確保と健全な財政運営の維持が求められる。財政計画の指針となる財政規律ガイドラインの策定が必要ではないか。

市長 地方自治体の中には策定している例がある。中長期の財政見通しの下、財政健全化を推進していきたい。

戦没者追悼式に一般市民の参列を

質問 戦没者追悼式の在り方については、一般市民の参列も検討すべきではないか。また遺族会と市との関わりを持つことが必要ではないか。

市長 今後は一般の方、特に若い世代にも参列を促すよう周知していく。遺族会についても各団体から課題等を確認していきたい。



石碑など慰霊施設の維持管理も課題



ちだ みつこ
千田 美津子 議員
日本共産党



地域医療はこれまでの到達点を尊重して

質問 市長は、新医療センター整備について、2年間の凍結を表明しているが、その根拠は何か伺う。

市長 先の市長選挙において、「新医療センター」現計画の見直しと地域医療の再設計」を公約の一つに掲げ当選した。これまでの議論を充分に踏まえつつ、持続可能な地域医療体制の実現に尽力する。

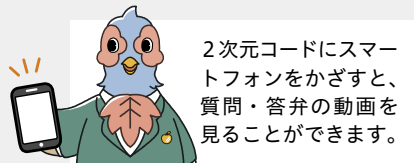
埋蔵文化財保護と史跡内道路の拡幅整備を

質問 史跡内の市道は、救助工作車などは入れず、また、すれ違いもできない状況であり、拡幅整備が必要だと考えるがどうか。

教育長 史跡整備に伴う現状変更以外、現況道路の拡幅等は原則認められないが、今後の「胆沢城跡保存活用計画」の改定において、道路の今後の在り方や課題等を整理しながら、文部科学省との協議につなげていきたい。



国指定史跡「胆沢城跡地」の状況



※4 ナフサ

プラスチックや塗料などの原料となる、原油から作られる石油製品。粗製ガソリンとも呼ばれる。国際情勢による価格の高騰や供給不足が相次ぎ、資材調達に停滞や仕入れ値の上昇を引き起こしている。



※3 集落支援員制度

少子高齢化が進む地域で、集落の維持や活性化を支える取り組み。地域に詳しい人材が自治体から委嘱を受け、集落の巡回や状況把握、住民同士の話し合いを促す。また、行政と連携して課題解決を促し、将来の定住環境やコミュニティの維持につなげる。



さとう かつや
佐藤 克也 議員
玲奥会



滞在型観光で地域活性化を

【質問】本市には歴史、自然、食など多様な観光資源がある一方、宿泊者数や観光消費額の拡大には課題がある。通過型観光から滞在型観光への転換を図るため、観光データの活用やDMOの機能の導入、台湾を中心としたインバウンド誘客の推進について市長の考えを伺う。

市長 本年度中に奥州市観光プロモーション戦略を策定するほか、「いわて観光DMP」の導入により、観光データの収集・分析を進め、観光客の周遊動態や消費行動を可視化し、効果的な施策につなげる。また、台湾市場への誘客活動を継続するとともに、推進組織についてはまずはDMOの理解促進、機運醸成を図りつつ、観光物産協会などと連携を強化し、官民連携の在り方を模索していく。



台湾を中心としたインバウンド誘致の推進



おいかわ たかく
及川 佐 議員
玲奥会



補助金・負担金は地域づくりへの投資へ

【質問】補助金・負担金の整理合理化は一定の役割を果たした。今後は削減した水準を維持ではなく、協働のまちづくりを支える制度へ見直すべきでは。

市長 目標額を定めたさらなる一律削減は行わないが、これまでの取り組み成果は維持される。公益性や社会情勢を踏まえ、各団体と協議しながら今後の在り方を検討する。

高校生団体の志を地域医療の力に

【質問】医師不足のもと、医師を目指す高校生団体MEDIAL（メディアル）の活動や医師志望者の増加を踏まえ、医師養成奨学資金貸付制度の拡充の考えを伺う。

市長 この制度は計画的な医師確保に有効。メディアルを始め医師を志す若者への支援は重要で複数応募の際は柔軟に対応し、財源の安定確保に努める。



地元から医師を育てる



いわがuchi ひろひろ
岩渕 英浩 議員
玲奥会



水害時における消防団の安全体制は

【質問】ライフジャケット等の装備の充実が必要ではないか。

市長 隊員に対して十分な数が行き渡っている状況になく、装備の充実喫緊の課題であると認識している。各地区の地理的条件や活動内容を踏まえ、消防団と協議しながら計画的な整備を進め、隊員の安全確保に努めていく。

りんごの鳥害対策への取り組みを

【質問】りんごへの鳥害被害が年々増加している。現状をどのように把握し、今後対策を行う予定があるのかを伺う。

市長 江刺地域からヒヨドリ・カラスによる被害報告を受けている。研究機関の動向も踏まえ、効果的な対策について関係機関と検討していく。



鳥害からりんごを守る対策を



あきよし なおみ
奥州ノート 議員



施工不良再発防止で信頼回復を

【質問】（仮称）奥州西学校給食センター新築工事の施工不良により国からの交付金が不交付となった。原因究明と再発防止、施工・記録管理体制の強化について伺う。

市長 施工監理の記録提出を義務付けするなどルールを強化し再発防止に取り組む。

透明性ある旅費制度への見直しを

【質問】職員の旅費の透明性を高めるため、旅費規程の見直しについて伺う。

市長 国や県の動向を踏まえ、旅費規程や運用を見直し、透明性向上に取り組む。

未来へつなぐ水沢公園へ

【質問】開園150周年に向け、公園の将来ビジョンと関係部局が連携した再整備について伺う。

市長 市民や関係団体の意見を伺いながら基本構想を見直し、魅力ある公園整備を進める。



未来の水沢公園イメージ



たかはし すずむ
新奥会 高橋 晋 議員



国際交流事業の在り方は

【質問】トランス交流の目的や成果、市民参加の在り方は。また、民間主体で実施されたジャマイカ交流を踏まえ、市民主体の国際交流への支援や、姉妹・友好都市交流を一体的に進めては。

市長 トランス交流を青少年・経済交流の柱として推進する。姉妹都市交流実行委員会と一体的に事業検討を進める。ジャマイカ交流は、参加者が世界を身近に感じられる貴重な機会であった、と評価している。市民主体の活動については、国際交流協会をサポートする形で協力、支援する。

学校給食施設再編と地域循環型食材調達

【質問】学校給食センター集約に伴う地産地消への影響や、地域事業者との連携は。

教育長 学校給食の奥州市産食材の使用率は低下しているが、優先調達は継続する。生産者や納入事業者、栄養教諭らによる情報交換会を開催し、地産地消の拡大と地域循環型調達につなげる方針。



2学期から運用が始まる奥州西学校給食センター



さとう ながまさ
新奥会 佐藤 永匡 議員



市内業者への受注機会の確保を

【質問】地域経済の発展と雇用確保のため、市内業者で対応可能な案件は市内業者を優先した指名競争入札を推進するべきではないか。

市長 市内業者の健全な育成や、市内経済の発展及び雇用の確保のため、厳正に審査し適正な入札の執行に努めていく。

市民活動団体や自治組織への支援拡充を

【質問】重要な役割を果たしている市民公益活動団体や町内会が持続可能な活動に向け、今後どのように支援していくかについて伺う。

市長 市民活動に関する相談や情報提供、講座案内を行っている。持続的な活動を支援するため、資金調達や協力者の確保に関する講座や、総合的な相談対応、協働の提案テーブルなどの制度も意見を聞きながらより良い制度となるよう努めていく。



市民活動団体への今後の支援



2次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。

用語解説

※6 水沢公園開園 150 周年

明治 10 年に開園した水沢公園が、令和 9 年に 150 周年の節目を迎える。市では記念事業や未来へつなぐ公園再整備構想を進めており、老朽化対策や憩いの場としての機能強化を図り、市民に親しまれる魅力向上と賑わいあふれるまちづくりを目指している。

用語解説

※5 いわて観光DMP

DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）はデータを一元管理・分析する統合システムのこと。県や観光協会が運用する「いわて観光DMP」では、観光客の周遊・宿泊データを集約・分析し、データに基づき、県内各地への誘客や観光振興を推進している。

このひろふみ
今野 裕文 議員
日本共産党



おいかわはるき
及川 春樹 議員
新奥会



かとう きよし
加藤 清 議員
奥和会



市政運営の方針は

質問 前市長の「未来羅針盤図」の各事業について、今後どうされるのか伺う。

市長 改めて今後の事業の可否を判断し、必要な場合はどのように取り組むかについて精査・検討している。江刺市街地開発については、どのような形で民間を巻き込み実現しようとしていたのか、というところからの出発であろうと考える。

稲苗立ち枯れ・細菌病の対策を

質問 水稲苗の立ち枯れ・細菌病の発生状況と対策について伺う。

市長 若手県病害虫防除所によると県内の発生率は3・7%で平年より高くなっている。管内の農協の調査では、約1万6千箱に被害があり、被害額は調査中と聞いている。被害を受けた農家への支援については現在予定していない。



初枯れ細菌病

産業基盤整備と広域連携は

質問 県南地域では産業集積が進み、各自治体が産業インフラ整備等を行っているが、より高度な産業クラスターの環境整備は県や国が主導すべきと考えるがどう対応するか。

市長 国の戦略産業の重要拠点としてさらなる発展を遂げられるよう、取り組みを進めるとともに、国にも働きかけていく。

上下水道事業の持続可能な将来運営を

質問 県南地域を視野に入れた上下水道事業の広域化、一本化を本格的に検討すべきでは。

市長 上下水道は生活インフラとして安定・持続可能な経営を維持すべく、県や近隣事業体との広域連携を丁寧で議論していく。事業の一本化は、検討会等で議論をしながら研究する方針。

圏域	令和元年度事業費(20%) 当り料金(月額)	令和5年度事業費(30%) 当り料金(月額)	料金増加倍率 (令和5年度/令和元年度)
盛岡	2,898円~4,172円	3,718円~37,437円	1.29~11.09倍
県南	2,563円~4,884円	8,539円~56,844円	2.13~17.52倍
沿岸南部	3,088円~4,070円	7,618円~29,740円	2.47倍~7.51倍
宮古	2,475円~3,930円	14,874円~48,670円	4.51倍~12.84倍
県北	2,968円~5,104円	14,169円~57,402円	3.40倍~16.74倍

水道事業の不足財源を料金改定で確保する場合の試算
出典：若手県ホームページ ページ番号 1060439

地域医療をどう考えるか

質問 令和7年6月に策定した新医療センター整備基本計画を凍結する要因は。また、同センターに係る関連予算が令和8年2月に本会議において全会一致で可決されたが、二元代表制の下、議会の判断をどう受け止めているか伺う。

市長 最新のデータで試算したところ将来負担額が約110億円と多額の負担になる。また、新病院の収支見通しは実現困難と見込まれる。これらを総合的に勘案し、さらには先の市長選挙の結果も踏まえ、ゼロベースから再検討すべきと判断した。

質問 市立医療施設の老朽化が進んでいるが、その対策について伺う。

病院事業管理者職務代理人 総合水沢病院は建築後58年経過しており、全面的な設備更新が必要な状況。診療や療養環境に影響を及ぼすことから抜本的対策を講ずる必要がある。施設更新についても検討を進めている。



市民の健康と笑顔を守る地域医療

議員表彰

全国市議会議長会で
永年表彰

全国市議会議長会第102回定期総会において、当市議会議員2名が、永年に渡り市政の振興に寄与した功績により表彰されました。去る6月5日、市議会定例会の本会議の冒頭で、本会議場において表彰状の伝達が行われましたので、その栄誉を称えご紹介します。

議長 4年以上

菅原 由和 議長

副議長 4年以上

加藤 清 議員



表彰を受けられた加藤清議員、菅原由和議長

総合計画調査特別委員会を
設置しました

令和8年6月定例会において、議長を除く全ての議員で構成する「総合計画調査特別委員会」(委員長：高橋晋委員、副委員長：菅野至委員)を設置しました。次期総合計画は、奥州市の今後10年から30年程度を見据えたまちづくりの基本方針となる重要な計画です。委員会では、4つのワーキンググループに分かれ、現行計画の成果や課題を市民目線で検証するとともに、成果指標だけでは見えない市民生活の実感も踏まえながら調査・研究を進めています。

今後は、市から示される計画案について議論を重ね、市民目線に立った実効性の高い計画となるよう、議会として責任を持って取り組んでまいります。

〈スケジュール〉

8月3日	当局による 当初案の説明
10月下旬	当初案に対する 意見提出
11月中旬	当局による 修正案の説明
12月上旬	修正案に対する 意見提出
1月15日	当局による 最終案の説明

市議会政務活動費
収支報告書を公開

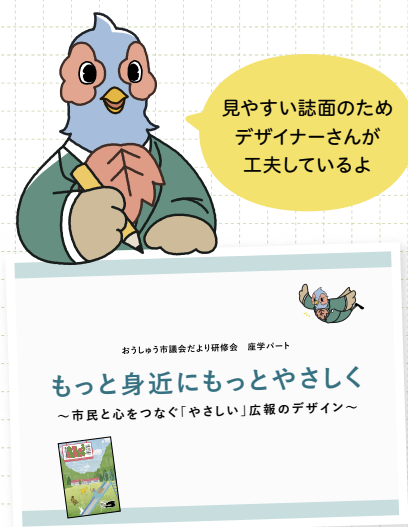


政務活動費は、地方自治法の規定により、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもので、奥州市では、議員1人当たり月額1万2千円、年額で14万4千円が支給されます。令和7年度の収支報告書、領収書等を公開しました。詳しくは市議会ホームページでご覧いただけます。なお、当市議会では平成29年度分以降の政務活動費に係る領収書のコピー等を公開しており、この取り組みも議会改革度ランキングにおいて評価されています。

用語解説

※7 産業クラスター

特定分野の企業や研究機関などが一定の地域に集まり、相互に連携・競争する産業群のこと。単に工場が立ち並ぶだけでなく、技術や情報を共有するネットワークを形成することで、新技術の開発や、地域の産業競争力の強化が図られる。クラスターは英語で「ぶどうの房」の意味。



議会広聴広報委員会では、視覚障がいのある方へ「広報おうしゅう」や「おうしゅう市議会だより」を音声で届ける「音訳おうしゅう」を視察しました。市内では30年以上前から地区ごとにボランティアによる音訳活動が行われてきました。

令和7年に各団体が統合し「音訳おうしゅう」が結成され、令和8年度からは市の委託事業として実施されています。録音や編集作業に真摯に取り組む姿に触れ、委員会としても誰もが必要な情報を得られる広報の在り方を考える機会となりました。



川口印刷工業株式会社で研修会



国内7議会が行政視察にみえました



令和7年度に視察のため奥州市議会を訪れた議会数は7議会、人数は64名でした。視察では、本市が進める「議会改革」をはじめとし、先進的な取り組みに対して高い関心が寄せられました。当市議会としても、他自治体との交流を通じてさらなる議会活動の活性化と情報発信に努めてまいります。

令和7年度 受入状況一覧

視察日	来訪市等	人数(人)	視察項目
4月28日	岩手県 八幡平市議会	11	学校の統合について
7月 7日	福島県 田村市議会	3	奥州市モバイルクリニック（遠隔診療サービス）事業について
7月14日	東京都 町田市議会	14	議会改革の取り組みについて
7月23日	愛媛県 西条市議会	14	政策サイクルの形成について 議員間討議について 議会広報について
7月25日	岩手県 大船渡市議会	7	政策サイクル形成への過程、取り組みについて
7月29日	岩手県 遠野市議会	7	議会中継ライブ字幕配信について 市民アンケート調査について ラジオ放送について
10月23日	北海道 登別市議会	8	政策サイクルについて



音訳活動ボランティア「音訳おうしゅう」視察



議会広聴広報委員会では、視覚障がいのある方へ「広報おうしゅう」や「おうしゅう市議会だより」を音声で届ける「音訳おうしゅう」を視察しました。市内では30年以上前から地区ごとにボランティアによる音訳活動が行われてきました。

令和7年に各団体が統合し「音訳おうしゅう」が結成され、令和8年度からは市の委託事業として実施されています。録音や編集作業に真摯に取り組む姿に触れ、委員会としても誰もが必要な情報を得られる広報の在り方を考える機会となりました。

（音訳版「おうしゅう市議会だより」制作の流れ）

議会だより発行・到着

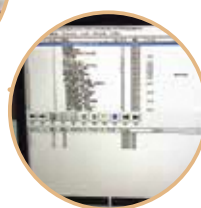
録音準備期

- ① ページごとに録音担当者を決定
- ② 調査 難読漢字・人名・地名・アクセントなどの正しい読み方の調査
- ③ 処理 写真・図・表・グラフを伝えるための原稿作り
- ④ 下読み 意味が伝わるように、読み方に注意し練習
- ⑤ ソフトを支給されている会員は自宅で録音＆編集

発行翌週の木曜日

主に福祉センターでの作業

- ① 読み方・編集の確認打合せ会議
- ② 録音
- ③ 校正（自宅分を含め検証する）
- ④ 編集
- ⑤ 返却CDの管理と処理
- ⑥ 完成CDの複製と発送作業



前任期の終わりとともに一区切りとしたこのコーナーですが、このたび広聴広報委員会から継続のお話をいただき、再び連載することになりました。コーナー名も引き継ぎ、「議長のつぶやきカフェVol.2」として、まさに、カフェの2号店をオープンするような気持ちで、装いも新たにスタートしたいと思っています。

ところで、コーナー名の「カフェ」は、市民との懇談会や議員間討議で取り入れている「ワールドカフェ」にちなみなので、「対話」を大切にしながら、カフェで語り合うような雰囲気のコナールにしたいという思いから名付けました。

今任期もそんな思いで、議会の取り組みをはじめ、日々の出来事や人との出会い、郷土の話題など、その時々を感じたことを自分なりの言葉でつぶやき、市民の皆さんに親しんでもらえるコーナーにしていけたらと思います。どうぞ、お茶でも飲みながら気軽にお付き合いください。



議長 菅原 由和